

## 身体的拘束最小化への取り組み

当院では、患者さんの安全を最優先とした上で、できる限り身体的拘束をしない医療・ケアを目指し、病院全体で「身体的拘束最小化」に取り組んでいます。急性期医療において、患者さんの安全を最優先にした時、やむを得なく身体的拘束を行う場合でも、以下の基準に基づき、医師、看護師ほか多職種で慎重に検討・実施しています。

### 【身体的拘束実施の基準】(三要件の遵守)

医療倫理に基づき、以下の3つすべての要件を満たし、ほかに代替手段がない場合に限り実施

- ① 切迫性:患者さんまたは他の患者さんの生命・身体が危険に晒される可能性が著しく高い
- ② 非代替性:身体的拘束以外に、危険を回避する手段がない
- ③ 一時性:身体的拘束が必要となった原因が改善次第、ただちに身体的拘束を解除する

### ◆中濃厚生病院で行っている主な取り組み

#### 1. 多職種での丁寧かつ慎重な評価を行います

医師・看護師・リハビリテーションスタッフなどが協力し、患者さんが安全に治療を受けられるよう、身体的拘束の必要性を総合的に判断します。

#### 2. 安全に配慮した環境を提供しています

転倒や意図せず医療用の管などを抜いてしまうことを防ぐため、病室の環境調整や見守りの強化を行っています。必要に応じて観察の頻度を増やすなど、患者さんが安心して過ごせる環境づくりに努めています。

#### 3. 不安を和らげるコミュニケーションを心がけています

入院して間もないころは、不安や混乱が大きくなりやすい時期です。

そのため、患者さんやご家族との対話を大切にし、治療や安全確保の理由を丁寧に説明します。

不安が軽減されることで、身体的拘束が必要となる場面を減らすことにもつながります。

#### 4. スタッフ教育の充実を図っています

身体的拘束を最小限にするための研修や勉強会を定期的実施し、全スタッフが最新の知識と技術を身につけられるよう取り組んでいます。

さらに、中濃厚生病院では「身体的拘束最小化に向けた取り組みの指針」を基盤として教育内容を整備し、全スタッフが共通の考え方と行動基準を持てるよう努めています。

### ◆患者さん・ご家族へのお願い

身体的拘束を減らすためには、患者さんご本人だけでなく、ご家族のご理解とご協力が欠かせません。

治療や安全確保のために必要なことは、できるだけわかりやすく説明いたします。

不安なことや気になることがあれば、いつでも医療スタッフまでお声がけください。